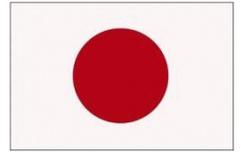




# 世界について考えよう第 15 弾



世界について考えよう第 15 弾は、南アフリカ編です。

南アフリカはその文化の多様性が有名ですね。その背景にあるのが、さまざまな民族。多くの民族が存在して、言葉も豊富にあるのですよ。現在、公用語は、英語をメインに、アフリカーンス語、ズールー語、ソト語など合計 11 あります。会社では英語を話し、家族や故郷の友人とは別の言葉で会話する、というのは、この国ではごくふつうのことです。びっくりしますよね。そして宗教も、キリスト教やヒンズー、イスラム教など様々です。

今回は前半で、食文化が融合してできた「バンニーチャウ」というカレーパン？を作って食べます。

午後からの後半では「虹の国～南アフリカ」の文化の違いが共生する社会について ALT のルアーニ先生他、鹿児島県に住む南アフリカ出身の方々をお招きして教えていただきます。

活動は、日本語と英語で行います

1940 年代、インド系労働者が食パンを器代わりに使ったのが起源とされるバンニーチャウ。  
食べ方はそれぞれで、インド系住民は手で、ヨーロッパ系はナイフ＆フォークを使う人が多いそうですよ。



☆日時：2023 年 2 月 23 日 木曜日(祝)

午前 10:00～午後 3:30 \*昼食はバンニーチャウを食べますアレルギーのある方はお知らせください

☆場所：東地区学習センター

☆参加費：500 円(材料代・保険代) 対象：小学 4 年生～中学生

定員：20 名(予定)

コロナ感染症等の関係で、会場の入場人数制限になった場合はお申込み先着順にて人数調整させていただきます。

👉 運営のお手伝いをしてくれる中高生ボランティアさんも募集しています

☆持ってくるもの：エプロン・マスク・飲み物・筆記用具

**\* 市中のコロナウイルス感染状況等によっては変更となる場合があります。**



申込先：特定非営利活動法人マザリープロジェクト 代表 和田友美  
090-5020-8026 aiueosumi.japanese.class@gmail.com

